



おしらせ (12月)



○みかんもぎ 12月3日(年中児) みかんパーティー 12月18日(年中組主催)

山口評議員宅のみかん山で、年中児がみかんもぎをさせていただきました。みかんもぎは初めての子どもも多く、慣れないハサミを慎重にもち、落とさないようにそっともいでいました。「10個だからあと〇個だ」と友達と一緒に数を数えたり、より大きなみかんを探したり・最後に山の上でいただいたみかんはより甘く、格別においしかったようです。その後みかんをどうするかみんなで話し合いをもちました。「今の年長さんみかんジュース作ってくれたよね」「1個(房)だとかわいそうだから2個(房)にしよう」などいろいろな意見が出ました。話し合いの結果、2個は自分で持ち帰り、残りはミカンジュースを作り2房ずつ食べることに決めました。

当日は半分に切ったミカンを絞りジュースに入れおいしいジュースの出来上がり!あまりのおいしさにおかわりの長蛇の列ができました。

○保育参観発表会 12月11日(年長・ほし組 「きらきらほしすいぞくかん」)
12月13日(年長・にじ組 「みんなのだいぼうけん」)

いろいろなお話を聴きイメージを広げながら、ストーリーややりたいものを決めていきました。「悪者はだれもなりたくない」など子どもたちの思いも大事にしなが、今までの遊びや得意なことも入れ込むことで一人一人が意欲的に取り組んでいました。途中、集中できない子には「みんなの発表会なんだからしっかりやろうよ」と友達同士で鼓舞したり、「こうした方がいいんじゃない」と友達の表現を考えたり・当日までの取り組みの中で一人一人が自分事として考え、発表会を成功させたいという思いが伝わってきました。

当日は今までの練習の成果を発揮でき、子どもたち、担任ともに今までで最高のできばえだったと大喜びでした。「めっちゃ緊張した!」と話す子どもたちの表情はさすがしく、1つのことをやり遂げた自信と満足感にあふれていました。年長さんの姿に憧れ、自分達の遊びにも取り入れている年少中児・「今度は自分達だ」と張り切っています。



○お楽しみ会 12月16日 (全園児)

「シャンシャンシャン」という鈴の音とともに「メリークリスマス」と登場したのは本物のサンタさん?一瞬シーンとなったものの、反応は学年ごとに違っていました。年少児はポカーンと口をあんぐり、年中児は「本物?偽物?」と半信半疑、年長児は「あれは英語の先生だ!違うよ園長先生だよ」とひそひそ声・・・子どもたちの反応のよさに職員もノリノリで、大型絵本を読んだり、ハンドベル演奏を披露したり大盛り上がり?でした。年中組も司会にプレゼント探しゲームに大活躍でした。幼稚園のプレゼントはクラスの友達みんな同じで、遊びに使える物です。「え~違う」とがっかりしていた子もいましたが、本当に欲しい物はもらえたかな?



○もちつき 12月17日 (全園児)

家庭ではなかなか経験できない日本の伝統行事に触れさせたいという願いのもと、毎年恒例のもちつきが行われました。ふかしたもち米を少し味見した後、臼に入れて杵でついた瞬間に米が飛び散る様子や、ぺたんという鈍い音、見る間にお餅になっていく不思議さなど五感すべてをフル活動し体感しました。年長児のみ小さい杵でつく予定でしたが、「僕達もやりたい」という年少中児の思いも受け止めて、特別に全員杵を持つことができました。園長先生や運転手さんが重い杵を軽々と持ち上げてリズムミカルにお餅をつく姿に、「すごい」と憧れの眼差しとともに「よいしょ、よいしょ」という掛け声にも自然に力が入っていました。「初めて食べた」という子どもが多かったのですが、つきたてのお餅は格別おいしかったようで、何回もおかわりしていました。



○大根収穫 12月18日 ・ 大根販売 12月20日 (年長児)

9月に種をまいた大根が収穫の時期を迎えました。引っ張ってもなかなか抜けない子には「ぐらぐらしながらたまに引っ張るといいんだよ」と教えている子もいました。みんなで協力しあっと言う間に80本の大根を収穫できました。次はいくらで売るかの話し合いです。100円、300円と意見が出ましたが、「買ってくれないと困る」と間をとって200円で意見がまとまりました。

いよいよ大根販売です。「いらっしゃいませ」「どんな大根がいいですか?」「1番おいしいのをください」お客さんの難題にも笑顔で1番大きい大根を渡していました。大切に品物を渡して本物のお金をもらう・初めての貴重な経験は緊張とともに満足感でいっぱいとなりました。翌日みんなで慎重に売り上げを数えたところ、水族館に行くにはあと650円足りなかったようです。「行ける所に行くしかない」などお別れ遠足に向けての話し合いはまだまだ続きそうです。



○ふわちゃん 天国に行っね 12月6日

長年みんなに可愛がられたうさぎのふわちゃんが預かりの子どもたちに見守られ息を引き取りました。後日小屋にお花や大好きだったたんぼぼを供えてお祈りしていました。

